

日本生協連グループ基本方針

2014年12月6日
統括専務理事 嶋田裕之

私たち日本生協連グループの役職員は、日本の生協の理念とビジョンの実現をめざして、次の5つの基本方針を日本生協連グループの使命として掲げ、この使命を果たしていきます。

1 組合員の想いとくらしの現実から商品と事業をつくりあげます〈組合員志向〉

私たちは、組合員の想いとくらしの現実から、ふだんのくらしに役立つ商品とサービス、活動をつくりあげてを徹底して追求します。組合員に向き合い、そこから学び、事業に生かす点で、他の追随を許さないよう能力を高め、想いを実現するためのしつこくを築きます。

2 連帯と協同で全国生協の総合力を高めます〈連帯志向〉

私たちは、会員生協・事業連合・日本生協連グループが、それぞれの役割を果たし強みを生かせる連帯の構築をリードします。これに、諸団体との協同のネットワークも加えて、組合員の願いとくらしの向上を実現できるよう、生協の総合力が発揮できるプロセスを事業と活動の両面でデザインし、その推進を図ります。

3 新しい価値を生み出し続けることで会員生協と地域社会に貢献します〈価値志向〉

私たちは、日本生協連グループの機能と資源を最大限に活用して、新しい価値を生み出し、会員生協と地域社会に貢献します。倫理的な価値を大切に、平和で持続可能な社会づくりを進めます。また、地域の中で助け合いの輪を広げ、社会の構成員が一人として孤立しない地域社会づくりを目指します。

4 職員が成長できる組織をつくり、ともに未来を創造します〈人づくり志向〉

私たちは、理念とビジョンを共有し、不断に学び合える職員組織をつくりまします。さらに専門能力を磨きつづけることで、日本生協連グループの自己革新と会員生協の事業と活動に貢献できる、積極的で元気があふれ、会員と一体感のある職員集団をはぐくみます。

5 正直・公正・公開の信条のもとで、信頼される職員と組織をはぐくみます〈正直志向〉

私たちは、正直・公正を大切にしながら、必要な情報を積極的に公開することで、ステークホルダー*と社会に信頼される組織をつくりまします。お取引先などのパートナーと誠実にコミュニケーションすることで信頼と連携を高めます。

*ステークホルダー：利害関係者。消費者、組合員、会員生協、役員、取引先、行政、地域社会など、そこからの理解や協力、支援がなければ、組織が存続し得ないような関係者。